

訓練プログラム

東南海・南海地震の発生と津波の襲来に備え、地震・津波による被害の軽減を目指し、『平成17年度 大規模津波防災総合訓練』（和歌山県御坊市）、『平成18年度 大阪地区津波防災総合訓練』（大阪府堺市）に続き、兵庫県下において、地域住民及び防災関係機関・団体等が協力・連携して、『兵庫県地区地震津波防災総合訓練』を行います。



9:00 9:30 10:00 10:30 11:00 11:30 12:00

訓練第一部

・地震発生から津波到達までの情報伝達、避難等の初動対応訓練

9:00~9:27 津波警報伝達訓練
気象庁が発する津波警報や緊急地震速報などの防災情報を住民及び各機関に伝達します。

9:02~9:30 住民の避難訓練
津波による浸水被害が想定される沿岸の住民が、津波避難ビルや近の高台へ避難します。

9:07~9:35 水門等閉鎖・情報伝達訓練
津波来襲に備えて、水門や開門の閉鎖訓練及び水門等に異常が生じた場合の情報伝達を行います。

9:08~9:35 船舶・沿岸利用者への避難広報及び船舶避難訓練
津波警報を受けて船舶や沿岸利用者に対し避難広報を行うとともに、海上の船舶は津波の影響の小さい沖合まで避難します。

9:08~9:43 航空機などによる広域情報収集訓練
ヘリコプターやドローンにより、発生直後の初期段階に道路・港湾施設、市街地等の被災状況を調査します。

9:15~9:50 住民による初動対応訓練
発生直後から公的機関到着まで住民や消防団が協力して消火や被災者救助を行います。

9:14~9:55 避難所設営訓練
避難勧告の発令に伴い避難所を開設し、応急給水活動等を行います。

災害対策連絡会議 9:43~9:55
大規模地震により広域的な被害が生じたため、関係機関が情報交換を行い、連携体制を強化します。

防災講座 9:55~9:59
地震や津波に対して日頃から備えておくことなどについて、京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・河田教授にわかりやすく解説していただきます。

〈波路会場訓練プログラム〉

水門等閉鎖訓練
避難誘導訓練

（南芦屋浜会場へのライブ中継）

開会式

〔挨拶〕

国土交通大臣、兵庫県知事、芦屋市長

訓練第二部

・津波警報解除後における救助・復旧のための訓練

10:15~10:38 航空機などによる情報収集・調査活動
ヘリコプターやオフロードバイクにより、被害状況を調査します。

10:20~10:31 道路啓開訓練
津波被災の応急復旧やガレキにより閉塞した道路の障害物を除去し、緊急輸送や交通路の確保を行います。

倒壊家屋からの被災者救助



衝突事故車両からの被災者救助



応急救護活動



10:20~11:50 炊き出し訓練
避難所における住民などによる非常炊き出しを行います。

10:40~11:00 被災者救助・搬送訓練
ヘリコプターや船舶で海上漂着者を捜索・救助、また、特殊車両により倒壊家屋や車輦等に閉じ込められた人を救助し応急診療所に搬送します。

10:40~11:50 応急救護活動訓練
応急救護所を開設し、傷病者を入れ、トリアージ及び応急救護を行います。

海上の油や浮遊物を海面清掃船、油防除船などにより除去し、海上航行路を確保します。

11:12~11:40 港湾啓開訓練

11:12~11:50 緊急物資輸送訓練
陸上、海上、航空の各機関が連携して被災被災地へ向けに医薬品、食糧、衣類などの緊急物資を輸送します。



堤防復旧のための土の作り

堤防応急復旧訓練（水防活動・ボランティア活動） 11:26~11:50
消防団（水防団）が被災した中小河川堤防に土のうを敷設し、応急復旧を行います。住民や学生に土のうづくり体験してもらいます。

ライフライン復旧訓練 11:35~11:50
高圧発電機車による応急発電、ガス施設の復旧、特設公衆電話の設置などを行います。

初期消火訓練

避難所開設・運営訓練

★南あわじ市からの被害状況報告
（南芦屋浜会場と海みどり会場を双方より衛星中継）

開会式

〔講評〕

京都大学防災研究所 河田教授

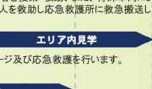
〔挨拶〕

近畿地方整備局長

道路啓開訓練



エリア内見学



緊急物資輸送訓練



ライフライン復旧訓練

